



## 日本マクドナルド、電通、ENEOS、日本航空、 富士フイルムホールディングス、三井不動産、 営業職の女性活躍を推進する「働きやすさNEXTプロジェクト」を始動

日本マクドナルド株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長兼最高経営責任者：トーマス・コウ）は、ENEOS株式会社（本社：東京都千代田区、代表者：山口 敦治）、株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：佐野 傑）、日本航空株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 グループCEO：鳥取 三津子）、富士フイルムホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）、三井不動産株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：植田 俊）と、6社で「働きやすさNEXTプロジェクト」を始動します。営業職の女性が抱える課題について、営業職に従事する女性の声を基点に、性別や役職を問わず幅広い関係者を巻き込んで議論し、女性活躍の推進や女性管理職比率の向上を目指す社会への提言につなげます。



dentsu  
tokyo/osaka/nagoya

ENEOS



FUJIFILM

三井不動産  
MITSUI FUDOSAN

社会で活躍する女性は増加傾向にあるものの、管理職などに占める女性の割合は、課長相当職以上（役員含む）で13.1%※1にとどまっています。時に突発的な顧客対応などが生じる営業職において、女性の活躍は多くの企業が共通して抱える課題です。特に「働く女性のロールモデルが少ない」「家庭との両立が難しい」などの固定観念や環境が、女性の営業職への挑戦や職務継続を阻む一因となっています。こうした課題は業界を問わずあるものの、それぞれの企業が個別に対処するには限界があるのも実情です。業界の枠を超えて知見を共有し、課題の解決策を模索するため、営業職における女性活躍の推進に課題意識を持ち、以前より対話や情報交換を重ねてきた6社が連携し、本プロジェクトを立ち上げました。

本プロジェクトは、営業職の女性社員を中心に、各社の男性営業職社員や経営層なども巻き込みながら、課題の可視化や施策を検討します。生成AI※2やアンケート調査を活用した定期的なワークショップなどを通じて、営業職における女性の活躍を推進するための課題の抽出や、具体的なアクションプランの策定などを行い、2025年度内を目途に、女性営業職の抱える特有の課題と、その解決策をまとめた提言を公開する予定です。6社それぞれの課題に応じて、女性が営業職として働きやすくなる施策を考案したり、営業職に対する固定観念の見直しに向けて動いたりするほか、中長期的には、女性社員の管理職就任へのモチベーションや女性管理職比率の向上を目指します。

6社は今後も、営業職における女性活躍の新たなモデルを提示し、誰もが能力を発揮できる働きやすい環境づくりを推進していきます。

※1 厚生労働省 令和6年度雇用均等基本調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r06/06.pdf>

※2 2025年5月12日発表：電通、イノベーションを加速するAIコンセプト開発ソリューションを大幅刷新  
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/0512-010881.html>

<報道関係各位のお問い合わせ先>

日本マクドナルド株式会社 コミュニケーション&CR 本部広報部 北田 TEL: 03-6911-5710

<お客様のお問い合わせ先>

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>